

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2018-188609 (P2018-188609A)

【公開日】平成 30 年 11 月 29 日 (2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報 2018-046

【出願番号】特願 2017-134293 (P2017-134293)

【国際特許分類】

C 0 9 J 175/02 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 8 G 18/10 (2006.01)

C 0 8 G 18/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 175/02

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 8 G 18/10

C 0 8 G 18/32

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 25 日 (2019.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イソシアネート基含有ウレタンプレポリマー (a) およびアミン化合物 (b) の反応物であるウレタンウレア樹脂 (A) 100 質量部に対して、イソシアネート硬化剤 (B) を 3 質量部を超え 20 質量部以下含み、

前記ウレタンウレア樹脂 (A) の分子量分散度が 1.5 ~ 6 であり、

60 - 90 % RH 24 時間後の粘着力が、1000 mN / 25 mm 以下である、

表面保護用粘着剤。

【請求項 2】

前記ウレタンウレア樹脂 (A) の重量平均分子量が 30,000 ~ 250,000 である、請求項 1 記載の表面保護用粘着剤。

【請求項 3】

さらに、可塑剤 (C) を含む、請求項 1 または 2 に記載の表面保護用粘着剤。

【請求項 4】

前記ウレタンウレア樹脂 (A) 100 質量部に対して、前記可塑剤 (C) を 0.1 ~ 100 質量部含む、請求項 1 ~ 3 いずれか 1 項に記載の表面保護用粘着剤。

【請求項 5】

さらに、酸化防止剤 (D) を含む、請求項 1 ~ 4 いずれか 1 項に記載の表面保護用粘着剤。

【請求項 6】

さらに、帯電防止剤 (E) を含む、請求項 1 ~ 5 いずれか 1 項に記載の表面保護用粘着剤。

【請求項 7】

基材、および請求項 1 ～ 6 いずれか 1 項に記載の表面保護用粘着剤の硬化物である粘着層を備えた、粘着シート。